

## I T活用生活単元学習指導案

作成者 教育センター指導主事

- 1 校 種 知的障害養護学校
- 2 対象児童 小学部 第2学年
- 3 教科等 生活単元学習
- 4 単元名 おやこ がっしゅく (合宿事前学習)
- 5 単元の指導計画 (総時数9時間)
  - 第一次 ききょうのいえを たんけん・・・(2時間)
  - 第二次 ききょうのいえで おやつ・・・(4時間)
  - 第三次 がっしゅくの よてい・・・(2時間)
  - 第四次 きょうは がっしゅく・・・(1時間)・・・本時

### 6 本時の学習

(1) 題 目 きょうは がっしゅく

(2) ねらい

- ・ 放課後、校内施設を利用した親子合宿のため、下校バスに乗らないことがわかる。 【知識・理解】
- ・ 合宿での活動をイメージし、見通しを持ったり、楽しみにしたりする。 【関心・意欲・態度】
- ・ 絵や写真カードから、楽しみなものを選ぶことができる。 【表現・処理】

(3) I T教材を使う意図

知的障害のある児童にとって、行事等は社会性を育むために大変重要な機会となる。中でも、合宿のように家庭と違う場所で宿泊することは大きな経験につながるため、知的障害養護学校では重要視されており、多くの学年で単元として扱われている。

合宿等は日常の日課と異なるため、自閉症のある児童達にとっては見通しが持ちにくく、不安定になる要素が多い。児童の中にはパニックを起こし参加が困難な場合もある。しかし、前もって予告を丁寧にするすることで、比較的納得して過ごせる場合も多いため、できるだけ視覚的にわかりやすく伝える工夫の一つとしてI T教材を活用したい。

今回は外部施設ではなく、養護学校内の生活訓練棟での親子宿泊合宿である。親子一緒とはいえ小学部低学年の児童にとって、生活訓練棟での宿泊はあまり経験ないことである。児童の中にはいつもと違う日課を非常に不安がり、参加の難しい子もいるため、事前学習では何度か施設を授業中に利用し、その場所に慣れるようにしたい。また、児童が過ごす場所やする活動を予定表や絵カードなどの他、I T教材を活用することで不安感を少しでも解消し、合宿への見通しを持ち、主体的に参加することを期待したい。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002

(5) 展開


欄	学習活動	児童の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分 導入	1 あいさつ	○ 当番は言葉や、身振り動作で挨拶する	<b>チ</b> 当番が始まりの挨拶をするよう、声かけしたり身振りを添えたりする	
	2 合宿の歌（替え歌）を聴く、歌う	○ 合宿の歌を楽しんで、聴いたり歌ったりする	<b>チ</b> 期待感が持てるように楽しそうに声かけする。先取りして歌う ・歌「がっしゅくにいこう」① <b>サ</b> 雰囲気盛り上げるよう、楽しそうに歌う	
35分 展開	3 今日、合宿があり下校バスに乗らないことを知る	○ カードやバックを見る ○ 下校バスに乗らないことを知る	<b>チ</b> イメージできるように、絵や文字カード、宿泊用バック等を見せる <b>チ</b> 映像を見せ、下校バスに乗るか乗らないかを尋ねる ・タイトルと下校 ②	<b>【知識・理解】</b> 下校バスに乗らないことがわかる（観察）
	4 親子合宿の予定を見て見通しを持つ	○ 画面を見て合宿のイメージを持つ	<b>チ</b> イメージできるように場所の映像や活動等を映す 身振りも添えて、楽しそうに伝える ・1生活訓練棟の写真 ・2おやつの写真 ・3公園の写真 ・4夕食の絵 ：(日程に沿い順次提示) ③	<b>【関心・意欲・態度】</b> 合宿の見通しを持ち、楽しんでいる（観察）
	5 楽しい活動を選ぶ	○ 絵や写真カードの中から、楽しいものを選んで貼る ○ 日程を貼る（一部の児童）	<b>チ</b> 児童がマウスを押したくなるように期待感が持てる声かけをする 押す部分にはわかりやすいように赤いシールを貼っておく <b>サ</b> 児童の行動をサポートする <b>チ</b> 何が楽しみであるか尋ね、シールの中から選び、台紙に貼るよう伝える <b>サ</b> 個々に応じて選択できるように支援する <b>チ</b> 予定をいつでも確認できるように日程シールを貼るよう促す	<b>【表現・処理】</b> 楽しい活動を自分で選ぶ（ワークシート）
5分 まとめ	6 合宿の歌を聴く、歌う	○ 楽しんで、聴いたり歌ったりする	<b>チ</b> 期待感を高めるように、楽しそうに話し、歌う <b>サ</b> 楽しそうに歌う。	
	7 あいさつ		<b>チ</b> 当番がする挨拶を見守り補う	

※**チ**はチーフ、**サ**はサブ、 はIT教材活用場面

(6) IT教材の説明について

♪ がっしゆく に いこう ♪

がっしゆくに いこう いこう  
みんなで とまろう とまろう  
がっしゆくに いこう いこう  
なーにが  
あーるかなー？



①について

- ・合宿を楽しくイメージしやすいように毎時間の始めに歌う。
- ・「えんそくにゆこう」の替え歌で単純な言葉の繰り返しと、掛け合いのあるところが特徴。
- ・合宿での活動や誰と泊まるかなどが歌詞に含まれている。

②について

がっしゆく



- ・合宿をイメージしやすくするように、布団で眠る様子や旅行かばん（いつもと違う、泊まる時に持って行く鞆）を映す。
- ・興味を持つように、図の下部の丸印が動いて文字とマッチングするようになっている。

②について

- ・日頃乗っているスクールバスの写真を見せ、今日の下校時に乗るか乗らないかについて尋ねる。
  - ・言語や身振りなどでの表現を促す。
  - ・日常と違い下校のスクールバスに乗らないことを伝える。(校舎内の生活訓練棟での合宿のため)

きょうは がっしゆく  
バスに  
のりません



10月20日  
水ようび

**がっしゅく**



- 1 ききょうのいえ 
- 2 おやつ 
- 3 こうえん 
- 4 よるごはん 
- 5 おふろ 
- 6 ビデオ 
- 7 はみがき・トイレ 
- 8 ふとん 

### ③について

- 活動の大まかな予定を押さえ、流れを確認するようにする。文字の理解が困難な児童のために、絵を挿入している。
- 特に日常と違うことに不安を強く感じる児童が、見通しを持つようにするために有効である。
- いつでも見られるように、印刷した予定表やプリント等も準備するとよい。

## 3 こうえん

パンダ こうえん



なんぶ こうえん



どっち？

### ③について

- 当日の活動の、散歩と遊びに期待感を持つよう写真を提示する。
- 時々訪れる公園2カ所のうち、どちらに行く予定であったかを児童に尋ね、言語や指さしでの表現を期待する。
- 行く予定の方が残りクローズアップするように工夫している。  
(5おふろ, 6よるごはんも同様)

## 5 おふろ





### ③について

- 生活訓練棟の場所の中で、主に児童が過ごす場所を写真で提示する。
- あらかじめ見せることで、不安感が減ることを期待する。その場所でする活動などをイメージできるように絵も添えてある。  
(1ききょうのいえ, 6ビデオ, 8はみがき, トイレなども同様)